

令和4年度伊賀市文化振興プランにかかる意見交換会概要

実施日 令和4年9月1日（木）午後3時～4時30分

場 所 伊賀市文化会館

テーマ 「文化振興を進めるために」

①日頃の文化活動において、感じていること、困っていること

②解決策や協力できること

参加者 43名

概 要

参加者を無作為に4つのグループに分け、テーマについて60分間意見交換をした。その後、全体で集まり、各グループで意見交換した内容を参加者間で共有した。最後に、伊賀市文化振興審議会会長から講評をいただいた。

1 意見交換会

- ・人口が減少し、文化の継承が難しくなっている。
- ・活動メンバーが高齢化し若い人が少なくなり、できることが限られてきた。
- ・活動や発表の場の確保が難しい。公民館廃止により使用していた場所がなくなった。駐車場が不便だったり、バリアフリーでなかったり、施設の利用勝手が悪い。
- ・文化団体の運営が費用面で難しい。
- ・各サークルと話し合えるきっかけがあるとよい。
- ・芸術に携わる人たちのネットワークを強化しコラボすることで、発信力が高まる。コラボして文化活動を広げていきたい。
- ・文化の継承には若者の存在が重要である。
- ・幼少期から芸術に触れることが大切。
- ・学校と地域や団体が連携していけるとよい。

2 講評

- ・学校と連携する場合は、学校に負担がかからないよう配慮すべきである。
- ・アーティストバンクを作る場合も、一定のルールや事業内容等の設定が必要である。
- ・生涯学習で学んだことは自分だけのものにせず、人に伝え分かち合うことが大事。
- ・同じ仲間を集めてコラボしたいという意見があった。コラボが広がると、市民の中にプロデュース感覚を持った人が育ってくる。プロデューサーを応援、育成する事業があっても良い。
- ・資金確保について、ふるさと納税を文化事業に使うなど、市民が市民を応援する仕組みを開発したらどうか。
- ・ただの愚痴や不満ではなく、それを制度的にどうつないでいくか審議会は考えていきたい。